

「健康しが」活動創出支援事業 助成対象団体一覧 「テーマ①地域」・「テーマ②女性」

No.	団体等名称	事業区分	事業タイトル	事業計画概要
1	YUMEMURA	② 主として女性を対象とした健康感の向上に資する取組	ママと赤ちゃんのお昼寝処「滋賀で産みたい！育てたい！」というまちづくり	コミュニティの希薄化・核家族化が進む現代に、「滋賀で産みたい！育てたい！」と感じてもらうためには支援が必要である。子どもを産めば親になれるわけではない。様々な体験を通して親になっていく。そこでYUMEMURAは(集・結・学・休)をテーマに事業を展開している。その中で産後直後の母親と赤ちゃんをまずは癒す場が必要と考えた。私たちは実家に頼らず育児をしている母親に多く出会う。その母親たちは孤独と不安が強く子どもが可愛いと思える余裕がない。そこで実家のようなほっとできる居場所が必要だと考えた。母親が安心して子どもを預け、ゆっくりと休息をとることで、育児に向き合う気力・体力を養うことができる事業を展開したいと考える。
2	NPO法人歴史資源開発機構	① 滋賀の魅力ある地域資源を活用した取組	聖徳太子と出会う近江一万階段	<ul style="list-style-type: none"> ・ 滋賀県は、全国で最も多く聖徳太子に関する文化遺産が伝えられている国で、縁起・伝説の世界ではあるが100を超える社寺が聖徳太子開基と伝えられる。近江の聖徳太子の文化は全国的にも稀な近江の個性的文化と評価できる。 ・ この背景には近江に大きな影響を与えた天台宗と聖徳太子の関係がある。天台寺院の多くは山に立地する。この結果、聖徳太子に関連する社寺の多くが山に在り、40段以上の石段を登らなければ参拝できない社寺が46か所、石段(階段)総段数14,000段余り有る[2022年現在当法人調査]。 ・ 2022年は聖徳太子が亡くなられて1400年目の記念すべき年であり、これをきっかけとして、聖徳太子に関連する社寺の石段を合計1万段を目標に登拝を促すための媒体を製作し、これを広く発信する。併せて、モデル登拝ツアーを開催する。 ・ 聖徳太子をテーマとし、体を動かし登拝することにより健康づくりに寄与すると共に、近江の固有の歴史文化遺産に関する全く新しい視点での活用を図る。2022年をきっかけとし、聖徳太子登拝ツアーを近江の観光資源として定着させる。
3	NPO法人ユナイテッド・ケア	② 主として女性を対象とした健康感の向上に資する取組	フェムサロン～カラダと心に向き合う女性の集い～	最近ではフェムテック・フェムケアという言葉を見聞きする機会が増え、従来は個人の問題として内在化しがちであった女性特有の健康問題が表面化する社会へと変化しつつある。女性自身が生理、妊娠、出産、更年期、介護など女性のライフステージにおいて心身に影響を与える事象に積極的に向き合い、自分の心身の状態を正しく知り、周囲との共有や助け合いの中で前向きに生活できることは重要である。これを具現化する実践の一つとして、フェムケアの方法の一つであるダンスを媒体ツールとした新しい交流コミュニティを創出する。この取り組みで年代や立場が違う女性が集い交流することでピアサポート機能が発揮されると共に有機的連携の発生により、人生100年時代を生き抜く女性が長期的な視点で自分自身の人生と向き合うことができ、かつ相互理解を根底とした支えあい活動を推進する力となる。
4	伊吹くらしのやくそう倶楽部	① 滋賀の魅力ある地域資源を活用した取組	「伊吹の薬草」と「農業エクササイズ」で身体も心も地域も健康に	伊吹山のふもとにあるコイズミ棚田は、千年以上の歴史ある「伊吹の薬草」が自生していますが、これまでヨモギ以外はほとんど活用されていませんでした。これを採集あるいは栽培して薬草茶、薬膳料理、薬草入浴剤などに活用して健康になろうという取り組みです。また茶樹の栽培も復活させ、お茶の葉だけでなく実から茶オイルを取って棚田を持続可能にするための事業化を行ないます。そのために荒地となっている耕作放棄地を開拓し、農地に復活させる必要があり、開拓作業、農作業をエクササイズと捉えたウェルネスツーリズムを創出します。自分の健康のためだけではなく薬草復活、棚田再生、地域活性化になるという「利他」の心が達成感、幸福感をもたらし、心身の健康につながっていく事業です。滋賀県「やまの健康事業」を3年度間させて頂きましたが、短期間での成果を求めるのではなく、長期にわたって取組んで行ける事業にする必要があると考えています。
5	一般社団法人インパクトラボ 【大学生枠】	① 滋賀の魅力ある地域資源を活用した取組	自然資源を生かした体験型プログラム「アウトドアダイアログ」	「アウトドアダイアログ」は、アウトドア活動(キャンプや農業体験など)にダイアログ(対話)を掛け合わせた体験型プログラムである。本事業では、滋賀県の自然資源を活用した活動に創意的なコミュニケーションの機会としての対話を掛け合わせる学生向けプログラムを開発し、その内容を伝える映像を制作、さらに健康について近年注目されているウェルビーイングの観点から活動成果をまとめる。事業の実施にあたっては、プログラム開発や映像制作を学生が主体となって行いながら、大学教員をはじめ、行政、企業、地域で活動する団体などに連携・協力していただく。また、今年度事業実施後は、参加対象や実施地域を広げながら事業を展開することや実証的な取り組みとして引き続き研究を続けることが見込まれる。
6	株式会社イヴケア	② 主として女性を対象とした健康感の向上に資する取組	マミング	本事業は、子育て中の女性に運動プログラムを提供することで、育児ストレスのリリースや健康増進を目指す。事業内容は、〈1.現状の把握・運動課題の調査〉〈2.運動プログラムの実施〉〈3.次回実施に向けて〉の3行程で構成されている。本事業の強みは、健康運動指導士が〈1〉で収集したデータに基づき、子育て中の女性にターゲットを絞った運動プログラムを提供することだ。〈2〉の内容は自宅でも取り入れられる内容を中心に構成するため、多忙で複数回参加することの難しいユーザーでも継続してセルフケアを促進することの出来るプログラムとなっている。本事業が採択され事業を完遂した際には、代表企業であるイヴケアが収益化を行い、運動を通して子育て中の女性が集える場所を作っていく。